



SDGsプログラム実施レポート No.15 「陸の豊かさも守ろう」



約2秒の間にサッカーコート1面分の森林が失われていることを知っていますか。よく知っている動物が実は絶滅の危機が迫っていたり、食べるものがなくて熊が町に出てきたり、陸の豊かさを守るために、どんなことができるかをみんなで考えました。

子どもたちが感じたことや感想など

- ・海と陸では、生き物の絶滅に大きな差があることを知った。
- ・木や森が持っている色々な役割や、優しさを知ることができて良かった。
- ・FSCマークがあるものを買うことで、陸の豊かさを守れることを知った。

子どもたちから出た意見

- ・紙や折り紙、えんぴつを大切に使う。
- ・失敗した折り紙を丸めてポイっと捨てたことがあるから気をつける。

プログラムの内容と子どもたちの様子

ある施設では、子どもたちと一緒にFSCマークを探し、メーカーの名前や商品の名前を発表してもらった。普段食べているお菓子里にマークが付いていることに、子どもたちは驚いていた。

翌日、保護者の方から家中の物に、FSCマークが付いていないかを探し、ファストフード店のおもちゃにもついているのを発見して興奮していましたとの嬉しい報告をいただきました。



**FSCマークを発見！
他にも探してみよう♪**



**学校の木を剪定した際に
不要となった木を使って
クリスマスリースを作り、
SDGs活動をしました！**

職員の感想

日本でできる活動や日本が持っている課題、世界の文化に関連して木が失われていること等の話をしました。約1時間で多くの森林が失われていることを知り、とても驚きました。また、生物多様性についても少し触れ、食物連鎖の流れの中にわたしたちがいることを改めて実感しました。近くに動物園があり、普段身近にいる動物も中には絶滅する生き物がいることを伝えましたが、海と違って目に見えて変化していることを伝えるのが難しかったです。